

情報数学

中山クラス
第7週(水曜日1限)

<今日の内容>

◇総合力学習

確率に関する問題をグループで検討、発表

総合力学習の進め方

<グループ分け>

1グループ当たり7名程度とする(6~7名)

現在、着席している席の近くでグループを構成する。
はみ出る場合は席を移動する。

<課題>

課題を1題を出題する。

<検討>

各グループ内で課題を検討し、意見を集約する。

<結果の発表&質疑>

各グループで代表者が検討結果とその理由を発表する。
発表内容に関して、他のグループから質問を受け付ける。

<教員からの解説>

確率の考え方、計算方法について

総合力演習課題(1)

宝くじを当てた人が県内の3大学(A大学, B大学, C大学)のどれか1つを無作為抽選で選び、その大学に全額寄付することを決めた。抽選に立ち会った証人はその結果を知っているが、各大学にはまだ通知されていない。

A大学の関係者が証人に対して「B大学かC大学のいずれかは落選するのだから、どちらが落選したか教えてほしい」と依頼し、証人は「B大学が落選した」と教えた。

そこで、A大学の関係者は次のように考えた。

「はじめは3大学から選ぶので、当選確率は $1/3$ であったが、証人から情報を得た後は、2大学から選ぶことになるから当選確率は $1/2$ になる」

(問題)

A大学の関係者の考え方は正しいか？間違っているか？

結論とその根拠を述べよ。